

## 令和6年12月定例会市議会市政報告

令和6年第5回釧路市議会12月定例会の開会にあたり、9月定例会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**道東自動車道釧路西ICの開通**」についてであります。

長年、地域として整備要望を続けてきた道東自動車道の市域における最後の未開通区間である「阿寒IC～釧路西IC間」の開通が、令和6年12月22日（日曜日）午後3時に決定いたしました。

また、地域活性化ICとして要望しておりました釧路空港ICについても同時に供用される予定となっており、これにより、移動時間の短縮のほか、観光振興や物流の効率化、災害発生時の緊急輸送道路としての活用など、様々な整備効果が期待されるところであります。

阿寒IC～釧路西ICの延長は、約17kmであり、この開通により、釧路市から札幌市まで約4時間12分で結ばれることとなり、開通前と比べ約7分の短縮、全線未整備時と比べると、約2時間24分短縮されることとなります。

開通日である12月22日には、関係者をお呼びして、午前10時30分から釧路市阿寒町公民館において開通記念式典、また、午後1時30分から釧路プリンスホテルにて記念祝賀会を開催いたします。

合わせて、4車線化工事が進められておりました国道38号線釧路新道につきましても、阿寒IC～釧路西IC間の開通日と同日に供用開始される予定となっております。

道東自動車道は、根室まで繋がることで最大の整備効果を発揮すると考えております。今後も引き続き、管内市町村と一体となって、尾幌糸魚沢道路の整備促進や、別保～尾幌間の調査促進など、道東道の整備に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

報告の第2は、「**オーストラリア姉妹湿地訪問**」についてであります。

去る11月13日（水）から19日（火）まで、7日間の日程で、オーストラリアにある姉妹湿地を訪問いたしました。

これは、今年、釧路湿原とオーストラリア国ハンター河口湿地との間における姉妹湿地提携の30周年にあたり、提携書の更新等を目的としたものです。

姉妹湿地提携は、両湿地を渡るオオジシギの繁殖地と越冬地であるという縁で、1994年に締結されました。提携後、湿地保全の専門家同士の交流や市民交流が続けてきました。

昨年5月に、5年ぶりに、姉妹湿地で長年野鳥の調査活動を行っている市民団体、ハンター・バード・オブザーバーズ・クラブとニューカッスル大学から9名の訪問団が来釧した際に、今年、姉妹湿地提携が30周年を迎えるにあたり、姉妹湿地提携に向けた訪問を依頼する親書が届いたことから、これを受けて今回の訪問になったもの

であります。

11月15日（金）にニューカッスル市庁舎にて、3市で姉妹湿地提携の更新を行ったほか、30周年を記念したイベントに参加し、ハンターウェットランドセンターや湿地関係者と釧路国際ウェットランドセンターの技術委員と湿地保全についての意見交換を行いました。

今回の姉妹湿地提携の更新に基づき、専門家による交流や湿地保全活動の連携を深めてまいります。

報告の第3は、「岡山市への友好親善交流訪問団の訪問」についてであります。

観光交流都市であります岡山市へ、私（市長）と議長、市議会姉妹都市議員連盟、観光協会の公式訪問団8名および市民訪問団16名で構成される友好親善交流訪問団につきまして、公式訪問団は11月11日（月曜日）から12日（火曜日）まで、市民訪問団は11月11日から14日（木曜日）までの日程で、訪問いたしました。

公式訪問団は、岡山市役所を訪問し、大森岡山市長、田口岡山市議会議長、石井おかやま観光コンベンション協会会長などを表敬した後、市民訪問団とともに岡山城で開かれました歓迎レセプションへ参加してまいりました。

歓迎レセプションにおいては、岡山の名産品を活かした数々の料理が提供されたほか、岡山おもてなし武将隊による歓迎のお出迎えや、会場となった岡山城の特別なライトアップなど、趣向を凝らしたおもてなしをいただいたところであり、私からも、釧路大漁どんぱくにおいて、岡山市の物産品が好評を得ている旨の話題も交えながら、有意義な交流をはかったところがございます。翌12日には、備中高松城址公園や造山古墳などの視察を通して、岡山の文化・歴史への理解を深めてまいりました。

また、市民訪問団につきましては、歓迎レセプションの翌日から14日にかけて、岡山・広島方面の観光をしていただいたところです。

両市の友好関係を一層深めるために、今後もこのような親善交流を継続してまいりたいと考えております。

報告の第4は、「釧路市社会福祉協議会との災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定の締結」についてであります。

去る11月28日、釧路市社会福祉協議会と釧路市は、大規模災害発生時において災害ボランティアセンターの設置・運営を円滑に行うことを目的として、協定を締結いたしました。

災害ボランティアセンターは、被災地におけるボランティア活動を円滑に進めるための拠点であり、ボランティアの受入れ、ニーズの把握とマッチング、ボランティア活動に必要な資機材の調達・管理などの役割を果たすものであります。なお、センターの設置場所は、釧路市民陸上競技場を予定しております。

本協定により、大規模災害発生時には、市から釧路市社会福祉協議会へ災害ボランティアセンターの設置・運営を委託することとなり、迅速かつ円滑にボランティアニーズに対応することが可能となります。

釧路市社会福祉協議会には、これまでも各種ボランティア活動に関して様々なご協力をいただいております。この協定締結を契機にこれまで以上に連携を深めながら、災害

に強いまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

報告の第5は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約126億2千万円となっており、11月30日現在における発注済額は約123億3千万円であり、発注率は、97.7%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約113億7千万円、率ではおよそ92.2%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約82%、上水道事業で約98%、下水道事業で約95%、住宅建設事業は約85%の状況となっております。

以上で、市政報告を終わります。